



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 ニホンフラッシュ株式会社
 コード番号 7820 URL <http://www.nfnf.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 高橋 栄二
 (氏名) 庄野 淳
 TEL 0885-32-3431

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-----|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 3,830 | 8.4 | 367 | 5.8 | 377 | 19.6 | 275 | 17.1 |
| 30年3月期第1四半期 | 3,535 | 11.2 | 390 | 5.6 | 469 | 25.9 | 332 | 30.5 |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 80百万円 (%) 30年3月期第1四半期 208百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 21.98 | |
| 30年3月期第1四半期 | 26.50 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 23,161 | 18,190 | 76.5 | 1,414.63 |
| 30年3月期 | 24,280 | 18,646 | 74.7 | 1,448.51 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 17,723百万円 30年3月期 18,147百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 20.00 | | 30.00 | 50.00 |
| 31年3月期 | | | | | |
| 31年3月期(予想) | | 25.00 | | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 25,000 | 21.1 | 3,750 | 18.5 | 3,580 | 15.0 | 2,620 | 11.7 | 209.12 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 12,530,000 株 | 30年3月期 | 12,530,000 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 1,423 株 | 30年3月期 | 1,423 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 12,528,577 株 | 30年3月期1Q | 12,528,628 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (会計上の見積りの変更) | 7 |
| (重要な後発事象に関する注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境は緩やかな改善傾向にあるものの、米中の貿易摩擦など海外経済の不確実性や為替・株式市場の変動の影響もあり、景気の先行きは依然として先行き不透明な状況が続きました。

国内の住宅市場では、都市部を中心とした新築マンションは、震災復興や東京五輪の開催決定で建設資材や人件費が高騰し高値が続いておりますが、低金利の住宅ローンや政府の住宅取得支援策の継続もあり住宅取得に対する需要は底堅く推移致しました。このような状況の中、当社は、安定した利益確保のため、コスト削減活動を継続的に実施し、生産効率の向上と原価低減に取り組んで参りました。

販売活動に関しましては、非住宅部門のホテルや老健施設、サ高住物件の受注強化と当社の主力製品である建具・造作材に加えシステム収納家具の販売も積極的に推進致しました。

一方、中国においては、政府の金融政策引締めや住宅購入制限の結果、北京や上海等一線都市では売買が鈍化しつつあるものの、都市部の人口増を背景に住宅市場の拡大は継続し、地方の中小都市では住宅在庫の調整が徐々に進んでおります。

中国政府は、環境負荷の低減や投機目的の購入を抑える為に、マンション建設における方針をスケルトン（内装別）からインフィル（内装付）へシフトしており、これを受けて分譲住宅の内装工事を義務付ける政策が、多数の省や市から発表されております。このような背景の中、当社グループは、主要都市25カ所に営業所を展開し、内装付住宅の開発を進める大手有力デベロッパーへのシェアの確保と新規顧客開拓を積極的に行って参りました。

さらに、拡大するインフィル市場に加え、従来からのスケルトン市場についても、当社はこの市場を狙ったルート販売（代理店を通じたエンドユーザーへの販売）にも注力し、現在主要都市を中心に、ショールームを設置する約60店の販売代理店と契約するとともに、各工場にユーザーからの個別オーダー対応が可能な小ロットの代理店専用製造ラインを設置し、増加する受注に対応するため各工場に倉庫を増設するなど、成長拡大と安定への布石を着々と投じて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高につきましては前年同期比8.4%増収の3,830百万円となりましたが、営業利益については、中国当局による環境規制の強化により3工場ともに高性能集塵装置及び塗装による排水処理装置の新設等の環境対策投資が相次ぎ、また昨年10月に試験操業を開始いたしました吉屋(青島)家居有限公司(流し台、洗面、収納BOX等の生産販売会社)の創業経費の発生や減価償却費などの固定費増加もあり、前年同期比5.8%減収の367百万円となりました。経常利益については、前年同期には臨時的な営業外収益が発生していた影響から前年同期比19.6%減収の377百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比17.1%減収の275百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は23,161百万円となり、前連結会計年度末より1,118百万円減少しております。これは主に現金及び預金の減少406百万円、受取手形及び売掛金の減少689百万円、有価証券の減少546百万円、商品及び製品の増加393百万円によるものです。

負債総額は4,970百万円となり、前連結会計年度より663百万円減少しております。これは主に未払金の減少339百万円、未払法人税等の減少223百万円によるものです。

純資産につきましては、18,190百万円となり、前連結会計年度末より455百万円減少しております。これは主にその他有価証券評価差額金の減少78百万円、為替換算調整勘定の減少246百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.2%増加して76.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月1日に公表しました通期の業績予想（売上高25,000百万円、営業利益3,750百万円、経常利益3,580百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,620百万円）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,783,789 | 3,376,866 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,227,108 | 7,537,786 |
| 電子記録債権 | 1,003,648 | 995,301 |
| 有価証券 | 1,392,650 | 846,000 |
| 商品及び製品 | 1,007,982 | 1,401,546 |
| 仕掛品 | 378,788 | 306,995 |
| 原材料及び貯蔵品 | 512,527 | 620,309 |
| 未収入金 | 78,645 | 77,556 |
| その他 | 359,773 | 418,267 |
| 貸倒引当金 | △173,897 | △166,395 |
| 流動資産合計 | 16,571,017 | 15,414,233 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,527,342 | 2,132,435 |
| 土地 | 1,022,125 | 1,022,125 |
| その他(純額) | 2,068,628 | 1,598,671 |
| 有形固定資産合計 | 4,618,097 | 4,753,233 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 526,298 | 527,923 |
| 無形固定資産合計 | 526,298 | 527,923 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,968,598 | 1,858,375 |
| 関係会社出資金 | 44,700 | 44,700 |
| 繰延税金資産 | 49,986 | 53,098 |
| 会員権 | 8,820 | 8,220 |
| その他 | 492,775 | 501,554 |
| 投資その他の資産合計 | 2,564,881 | 2,465,948 |
| 固定資産合計 | 7,709,276 | 7,747,106 |
| 資産合計 | 24,280,294 | 23,161,339 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,607,159 | 1,541,339 |
| 電子記録債務 | 1,345,966 | 1,187,063 |
| 短期借入金 | 272,475 | 266,490 |
| 未払金 | 1,148,780 | 809,620 |
| 未払法人税等 | 368,280 | 144,463 |
| 賞与引当金 | 98,743 | 166,308 |
| その他 | 216,390 | 312,170 |
| 流動負債合計 | 5,057,795 | 4,427,455 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 150,021 | 115,647 |
| 長期未払金 | 257,905 | 257,905 |
| 退職給付に係る負債 | 168,198 | 169,828 |
| 固定負債合計 | 576,124 | 543,381 |
| 負債合計 | 5,633,919 | 4,970,836 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,117,501 | 1,117,501 |
| 資本剰余金 | 1,825,186 | 1,825,186 |
| 利益剰余金 | 13,330,244 | 13,229,811 |
| 自己株式 | △714 | △714 |
| 株主資本合計 | 16,272,218 | 16,171,784 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 789,401 | 710,927 |
| 為替換算調整勘定 | 1,103,138 | 856,812 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △17,014 | △16,206 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,875,525 | 1,551,533 |
| 非支配株主持分 | 498,630 | 467,183 |
| 純資産合計 | 18,646,374 | 18,190,502 |
| 負債純資産合計 | 24,280,294 | 23,161,339 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 3,535,372 | 3,830,973 |
| 売上原価 | 2,356,165 | 2,585,549 |
| 売上総利益 | 1,179,207 | 1,245,424 |
| 販売費及び一般管理費 | 788,641 | 877,678 |
| 営業利益 | 390,565 | 367,745 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 41,912 | 49,316 |
| 有価証券運用益 | - | 14,460 |
| 受取賃貸料 | 4,590 | 5,157 |
| 企業発展助成金収入 | 69,975 | - |
| その他 | 35,793 | 1,999 |
| 営業外収益合計 | 152,270 | 70,933 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 2,487 |
| 手形売却損 | 55,695 | 46,120 |
| 為替差損 | 14,571 | 10,298 |
| その他 | 3,329 | 2,638 |
| 営業外費用合計 | 73,597 | 61,544 |
| 経常利益 | 469,238 | 377,134 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 469,238 | 377,134 |
| 法人税等 | 137,260 | 122,258 |
| 四半期純利益 | 331,978 | 254,876 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △63 | △20,529 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 332,041 | 275,405 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 331,978 | 254,876 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 156,770 | △78,474 |
| 為替換算調整勘定 | △281,491 | △257,243 |
| 退職給付に係る調整額 | 755 | 808 |
| その他の包括利益合計 | △123,965 | △334,909 |
| 四半期包括利益 | 208,012 | △80,032 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 222,462 | △48,585 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △14,449 | △31,446 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。